



自由楽校 ゆめまある

“居たい”
“行きたい”
“やってみたい”
を
叶える夢の家



- 🏠 自由楽校ゆめまある
- 📍 東彼杵郡川棚町
- 🕒 火・水・金・土(10:00~15:00)
- 💰 月額10,000円／スポット利用 1回2,000円
(※年度により変動有り／別途入会金等)
- 👤 不登校もしくは登校に不安や困難を抱える小学生～高校生
- 💬 まずはお気軽にご相談ください
- 👥 一般社団法人 かわたなキッズ
- ☎ 090-5022-2789 ✉ kawatana.yume.kids@gmail.com
- 🔗 「親の会」のみの利用も可能です



公式サイト



Instagram

活動のきっかけから居場所の開設まで

きっかけは我が子の不登校。発達特性もあり、入学当初から学校に通うことが苦しかった兄妹2人がいよいよ不登校になった時、この子たちが笑顔で生きていくためには第3の居場所が必要だと思い、せっかくやるなら不登校の子ども達を集めて一緒に挑戦してみようという決心。生きづらさを抱える子どもと親が安心して個性を開花できる居場所を目指して『かわたな夢のキッズハウスプロジェクト』と『親の会』を発足しました。

親の会では定期的に不登校の子をもつ親同士で気持ちを吐き出したり共に学びあい、親が元気で前向きでいられることも大切に活動しています。

さて、2023年にはじまったこのプロジェクトには、不登校の当事者親子や地域の有志など約10家庭が集まり、「場所」「人」「資金」の募り方を模索するところからスタートしました。

周知と資金集めのためにはじめた、近隣のイベントでの“ダンボールめいろ”はその一連の作業を通して大人も子どももどんどん仲を深めるきっかけに。

そして2024年6月、WAM助成に採択されたことにより、いよいよ待望の居場所『自由楽校 ゆめまある』の開設に至ります。

居場所の名前はゆめのような間(時間・空間・仲間・隙間・瞬間)がある居場所という意味で“ゆめまある”。冠に“自由楽校”とつけたのは、学校に行きたいけど色々な事情で行けない子たちが、「自分も“がっこう”に所属しているんだって感じることができる」という声があったからでした。

当事者の子ども達と共に作る居場所

プロジェクト立ち上げ当初は家から出て人と関わり合うことに抵抗があった子ども達も、「支援される立場」としてではなく共に活動するプロジェクトの「仲間」として関わってきたことで、ゆめまあるを開設し新たな利用者さんを受け入れる頃には、すでに顔つきが立派な“先輩”になっていました。

子ども達自身が自然体でそこに来る全てのの人にゆるっと受け入れる空気感を醸し出しているので、ゆめまあるはとにかく居心地の良さが抜群で、開所からわずか3ヶ月であっという間に利用者が予定定員を超えてしまいました。

大人はあたたかくておいしいご飯を提供しながら子ども達自身の関わり合いや気持ちの方向性を見守っています。決して強制はせずきっかけだけをそっとちりばめ、「やりたい」の芽が出るタイミングを大切にしながら、子ども自身の持つ力を信じて任せて共に楽しんでます。

そしてここで育まれるそんな子ども同士や大人との関係性こそが安心感や肯定感として心の土台となっていることで、子ども達が本来持っている「やってみたい」という気持ちが生まれてきています。

また、月に1度のスペシャル体験Day『親子の会』では居場所での関係性が育まれたからこそできるちょっと勇気のいることや、大人数での活動も徐々にできるようになり、子ども達の成長を感じられる機会となっています。パパたちも積極的に参加してくれるんですよ。

そして「学校ではなくても、自分も自分の意思でやっていることがある」「できるようになったことがある」「友達がいる」ということが自信となり、学校や社会に足が向くようになる子もいます。

民間だけで、利用者の金銭的負担を上げずに運営を続けていくのはとても困難です。子どもの居場所の必要性が当たり前認められ、どの子も学校と同等に無償で通える居場所があり、自分にあったカタチで自信をつけ、のびのびと個性を開花できるようになる日がくるといいなと思っています。